

共通科目「情報」の基本方針

共通科目「情報」は「情報リテラシー」と「データサイエンス」で構成する。

情報社会に生きる社会人として必要な、コンピュータとインターネットに関する基礎知識と社会における位置づけを理解させるとともに、情報社会を支えるデータの活用に関する基本的な考え方を修得させるため以下4項目を目的とする。

- (1) 情報社会において尊重すべき倫理感と情報サービスの利用に不可欠な情報リテラシーを修得させること
- (2) コンピュータやインターネットを用いた自分の行動に責任をもてる能力を養成すること
- (3) 学生が将来どのようなコンピュータ、アプリケーションソフト、インターネットサービスを使う状況になっても独力で使いこなせる能力を身につけさせること
- (4) データを適切に収集および管理し、データ分析に役立てる能力を修得させること

「情報リテラシー」は、コンピュータによる情報処理、インターネットの基本的概念および社会におけるコンピュータの位置づけを理解させることを目的とする。情報倫理、コンピュータの仕組み、インターネットと情報システムの仕組み、情報セキュリティなどについて説明する。さらに、コンピュータを利用した基礎的な情報利用技術の養成を目的とする。文書・プレゼンテーション作成を通じた情報発信およびソーシャルメディアを通じた情報発信と情報共有の手法を実践的に修得させる。

「データサイエンス」は、データサイエンスの基本的概念を理解させることを目的とする。データの収集、データの可視化、データの分析の基礎について説明する。具体的なデータを用いた表の設計、データの管理、データの可視化、データ分析を通じて、データ活用の手法を実践的に修得させる。また、先端的なデータサイエンスの事例を通じて、社会におけるデータの活用について修得させるとともに、人に関するデータを取扱う際に遵守すべき倫理上の事項を理解させる。